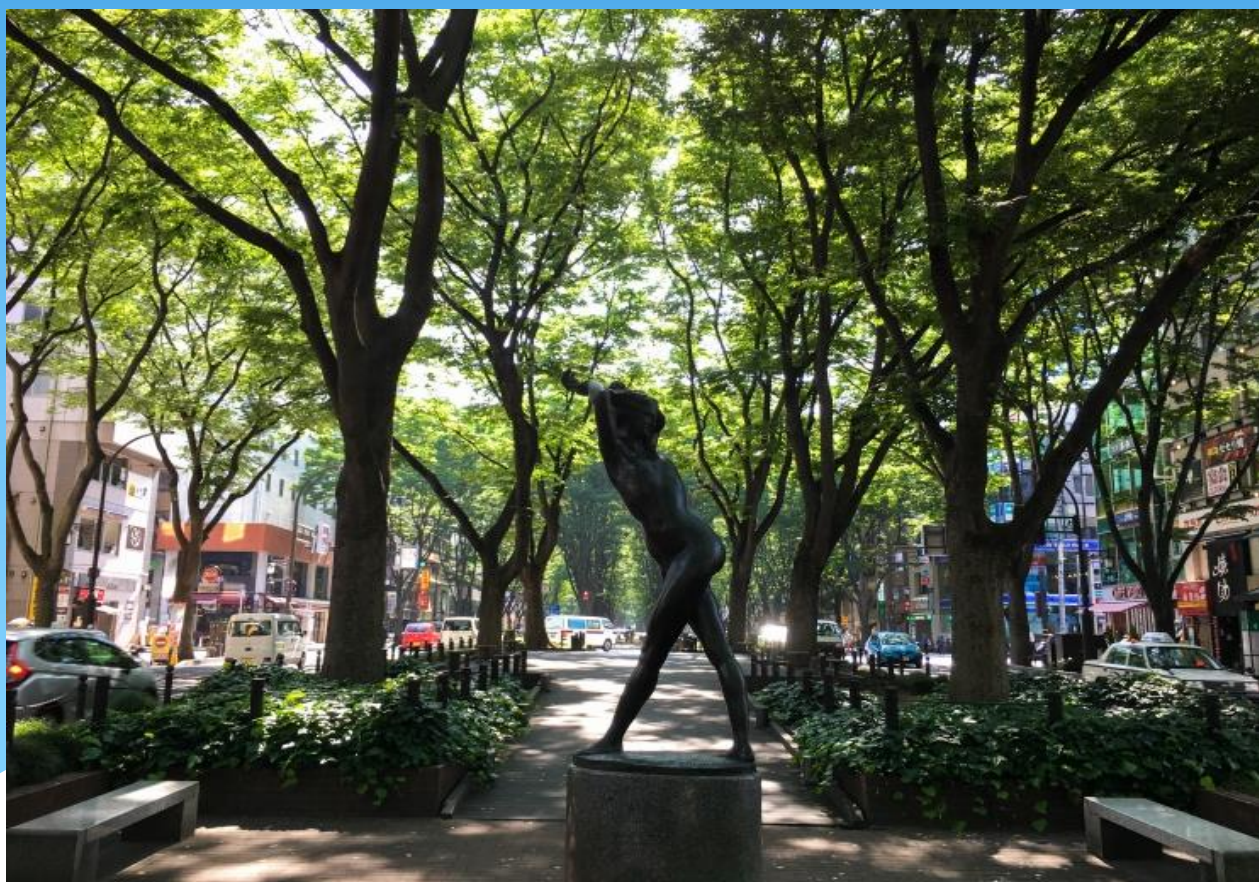


大内じゅん 政策集

『ひと』 『こころ』 『まち』



討議資料

大内じゅん・あしたの仙台プロジェクト

心・命、守る。若者・定着、前へ！



これが、あしたの仙台です。

はじめまして、大内じゅんです。会社員の傍ら、あしたの仙台の姿を浮かべ、まとめたのがこの政策集です。

1つでも共鳴頂いたら、あなたもこのプロジェクトの一員です。

仙台市、泉区の課題・問題を真っ直ぐな目で、守る。前へ！
共に頑張りましょう！！

大内じゅん これまでの道のり

1971年 東京都町田市で生まれ、物静かながら、社会的な事に興味が湧いたり、果敢に挑戦する少年として育ちました。

1985年 家の都合で親の実家がある岩手県一関市へ転居、これが人生のターニングポイントになりました。

1990年 岩手県立一関第二高等学校を卒業、大学進学か就職かの選択、株式会社リクルートへ入社しました。

2002年 前年、大手人材紹介企業へ転職、今後を考え、仙台へJターンし地元出版社へ転職、市政への関心はここから始まりました。

2007年 4年前に独立し、地域活性や採用コンサルを手掛けながら初の著書『ジミ都市仙台の本』を執筆しました。

現在 営んでいた事業を終了し、小さな地場商社に勤める傍ら、草の根勉強会『あしたのS』を主宰しています。

政 策

基本コンセプト

『心と命』『若者定着』の街＝あしたの仙台

基本政策

- 心と命を皆で育み、守る あたたかさに満ち溢れる街。
- 若者が住みたくなる、雇用環境、起業等の挑戦する風土が整った街。

具体的政策

ひと

魅力ある雇用環境、起業支援

・年間の企業誘致件数50件、起業件数100件を目標に、雇用拡大と起業等挑戦しやすい風土を醸成し、仙台に住み続けたい環境づくりを進めます。

将来性高い事業への投資

・企業規模、個人問わず、将来性高い事業へ積極的に投資し、挑戦を支援します。

ダイバーシティの推進

・多種多様な人材を掘り起こし、各企業や団体等へ活用を促す、（仮称）仙台ダイバーシティバンクを立ち上げます。

若者への所得支援

- 仙台市内の一定の要件を満たした企業へ就職した若者へ、ふるさと納税を活用し、上限3年で10万円/年を支給し、所得を支援します。

こころ

いじめが起きない心の醸成

- 学校を『個々の違いを、お互いに認め合う』場所へ。教師や地域住民が1人の大人として子ども達へ語りかけ、いじめが起きない環境を醸成します。

- 現状、命を守り、ケアをするには不十分です。当事者へ寄り添い、問題解決を図るため、仙台市独自の解決機関を設けます。法的効力の壁があれば、『いじめ防止対策推進法』『仙台市いじめの防止等に関する条例』の改正を促します。

いじめで心に傷を持つ人への支援

- 子どもを守る視点で児童相談所を改革します。福岡市をモデルに、ワンストップ対応、対象年齢引き上げ、事務職員の一部専門職化、職員教育の見直し、警察・学校・市教委・上記解決機関との連携や対応の迅速化、不足分を補うNPO及び地域との協同等、子どもを守り、寄り添う組織（仮称）仙台こども支援センターに作り変えます。

教える・教わる・
育む
豊かな心づくり

- ・ご家庭や地域の大人も豊かな心で子ども達に接する事が大切です。生涯を通じて楽しく教える、教わる場所を作る個人・団体に費用の一部を助成します。潤いある日常生活から豊かな心が生まれ、お互いを認め合う個性の尊重が育まれる環境をつくります。

まち

住みたくなる
泉区へ

- ・住みやすさとは、便利以外に、住もう人同士がお互いを理解し、泉区に愛着を持つ事が大切です。泉区の魅力を発信し、みんなが共有出来る、既存メディアやSNSを活用した、(仮称) いずみ魅力発信プロジェクトを立ち上げます。

来たくなる泉
区へ

- ・街づくりは、あしたの仙台を担う若者主体へ転換し、泉中央駅前の広場を『いつも楽しい』イベントの聖地にする等、来たくなる泉区にします。

泉中央駅周
辺のリニュー
アル

- ・バスターミナルの拡充。東側の駐車場に将来建物が建っても、1～2階部分を空洞にする事で拡充は可能です。誰もが利用しやすいバスターミナルに作り変えます。

- ・慢性的に渋滞の、泉中央通りと泉ヶ岳通りの交差点を立体交差化で改善します。

新市庁舎・新区 庁舎をみんなの オアシスに

- ・建て替えされる新市庁舎・新区庁舎を効率的、便利、気軽に立ち寄れるものに。市民のへや、催事スペース、市政情報センターの拡充や、食堂のカフェテリア化等、住民目線で利用しやすい庁舎にします。

屋内外の市施設を禁煙に

- ・仙台市の屋内外施設を全て禁煙にします。

その他

- ・『働かない議員を働かせる』ため、住民との対話を重ね、議会の在り方をゼロベースで見直します。

議会改革

- ・議会基本条例を制定し、議員活動の透明化を進め、住民と議会の距離が近い開かれた議会へ改革します。

- ・議会の硬直化防止と活性化を図るため、議員の多選に上限を設け、世代交代を促します。

- ・27ある外郭団体を見直し、最大半分に再編し、行政をスリム化します。

行財政改革

- ・交通局を見直し（バス・民間移譲、地下鉄・民営化）、一部の地域にはデマンド交通の導入等を進め、財務改善を図り、市民の足を維持します。

- ・ガス局の民営化を推し進めます。

国政課題について

原発

- 無責任に脱原発を叫ぶのは反対ですが、次世代エネルギーの確保を前提に、脱原発の方向性には賛成します。

憲法改正

- 憲法改正が本当に必要になった時、初めて議論する話と考えますが、自衛隊を明記する第9条改正には反対です。

働き方改革

- 働く人の立場で作られておらず、中途半端さが否めない以上、働き方改革になっていないと考えます。

消費税10%引き上げ

- 断固反対します。その前に賃金を引き上げて欲しい。この時期に引き上げるのが理解出来ません。

外国人労働者

- 低賃金目的での雇用には反対です。国として人数を管理したら良いと考えます。

LGBT

- LGBT（性的少数者）の同性婚は人間として認められる権利です。先進自治体の渋谷区をモデルに、仙台市の独自制度導入を進める必要があります。

ご覧頂きありがとうございました！あなたもプロジェクトへ参加しませんか？詳しくは・・・

大内じゅん あしたの仙台

検索

大内じゅん 政策集 『ひと』『こころ』『まち』

発行：2019年5月1日
発行者：大内じゅん・あしたの仙台プロジェクト

事務局：050-3656-1323
E-Mail: ashitanospj@gmail.com

大内じゅん あしたの仙台


検索